

執筆者紹介（執筆順／＊は編著者）

*中富公一（なかとみ・こういち）

岡山大学名誉教授

〔業績〕『自信をもっていじめにNOと言うための本——憲法から考える』（日本評論社、2015年）、ほか共著、論文多数

担当：はじめに、第1部第1～4章、第3部第3・4・13章、コラム①・⑤、おわりに、巻末資料

戸圭介（ししど・けいすけ）

岡山大学ヘルスシステム統合科学研究科教授（博士（法学））

〔業績〕「第8章 医療における人権を知ろう」古橋エツ子監修、和田幸司編著『人権論の教科書』（ミネルヴァ書房、2021年）146頁以下／分担執筆

担当：第2部第1・2章、第3部1・2章、コラム④

萩原聡史（はぎはら・あきひさ）

名古屋経済大学法学部教授

〔業績〕「第15章 警察と地域の安全」白藤博行・榊原秀訓・徳田博人・本多滝夫編著『地方自治法と住民——判例と政策』（法律文化社、2020年）204頁以下／分担執筆

担当：第2部第3～5章、第3部第11章、コラム②

矢吹香月（やぶき・かつき）

岡山県消費生活センター消費者教育コーディネーター・消費生活専門相談員

岡山大学、倉敷市立短期大学、倉敷芸術科学大学非常勤講師（博士（法学））

〔業績〕「消費者の権利の憲法による定礎を目指して」『岡山大学法学会雑誌』68巻3・4号（2019年）598頁以下

担当：第2部第6章、第3部第6・9・10章、コラム③

俵野英二（またの・えいじ）

岡山大学大学院社会文化研究科客員研究員（博士（法学））

岡山大学、就実大学、ノートルダム清心女子大学、くらしき作陽大学、美作大学、山陽学園大学、中国学園大学非常勤講師

〔業績〕「学校による指導監督の憲法的裁量統制の法理——インターネットいじめに関するアメリカ判例の分析から」岡山大学博士（法学）学位論文（2018年3月）

担当：第3部5・7・8・12章、コラム⑥